同窓会報

同窓会長挨拶

同窓会長
西山　直司

同窓会会員の皆様には益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。日頃は同窓会活動にご理解とご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

さて、昨年に引き続き和牛甲子園では2つの特別賞を受賞し良い成績を収めました。また特筆すべきは農業クラブ活動において、動物科学部のプロジェクト発表で、県大会、東海大会を勝ち抜き、熊本県で開催された全国大会で優秀賞を受賞した事です。私も大会前に練習を拝見させて頂きましたが、私の頃に比べ、はるかに堂々としっかりした発表をされていて感心しました。同窓会としても祝意を表して垂れ幕を作成させて頂きました。是非ご覧頂ければと思います。体育会系では全日本競歩輪島大会に出場の快挙もありました。母校の栄誉は、同窓生として大変嬉しい事でした。ひとえに在校生の方々、先生方のご努力あっての事と、厚く御礼申し上げます。

今年は新型コロナ感染症が5類になった事を踏まえ、学校生活も徐々に正常化して参りました。9月には、4年ぶりに体育大会に来賓としてご招待を受け、見学させて頂きました。久しぶりに近くで体育大会を見せて頂き、若いエネルギーがあふれる様子に触れ、益々発展していけると心強く感じました。また農高祭では、一般公開が行われ農産品の販売など活況を呈していました。これからアフターコロナの学校生活において戻すべきところと、新規に構築していくところが出てくると思いますが、コロナ禍の経験を生かした活動に期待しております。

さて昨年も少し触れましたが、少子化の問題は高校にとっても対岸の火事ではなく、間もなく来る大きな変革に備えなくてはなりません。渥美農高は昭和26年に、地域農業者の育成を目的に当時渥美郡十一ケ町村（現在の田原市と豊橋市の一部）の請願によって設立されました。今も地域農業にとって重要な位置を占めています。変革の中で、何ができるか現在模索しております。その一つとして同窓会としては、次年度に向けて地域一丸となり農業教育の一助とすべく、学外講師を招いた講義を企画しております。現場で活躍している同窓生の方々などにお話をして頂く機会ができたらと考えております。その折には、面倒がらず是非ご協力賜れればと、衷心よりお願い申し上げます。

また50周年記念事業の一環で始まったオランダ王国・ウエラントカレッジとの姉妹校派遣事業は、今年についても断念せざるを得なくなりました。多感な高校生時代に広く世界の農業に触れる事は、学生にとって大きな成長になると思います。学校とも相談して何らかの方法がないか、次年度に向けて鋭意努力していきたいと考えております。ぜひ皆様のお知恵をお借りできればと思います。

最後になりましたが、地域農業が発展していけるかどうかは人材に懸っています。言い換えれば、渥美農高の盛衰が地域農業を決すると言っても過言ではありません。同窓生の皆さんのご協力をお願いし、渥美農高の彌榮を祈念してご挨拶に代えさせて頂きます。

発行　令和6年3月1日
愛知県立渥美農業高等学校同窓会事務局
TEL 0531-22-0406
FAX 0531-22-6462

校長挨拶

「知的体力」をもつこと

校　長
鈴木　修市

渥美農業高等学校同窓会の皆様には、平素より本校の発展のために物心両面から温かい御支援と御協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。そのおかげで、創立以来、良き伝統を受け継ぎながら、多くの地域の農業及びその他産業の担い手を育成し、本年度創立73年目を迎えることができました。この間、本校で勉学に励んだ12,435名が巣立ち、多くの先輩方が、農業はもとより産業、経済、政治、文化等のあらゆる分野で活躍され、郷土渥美半島の現在の隆盛の礎を築かれています。

さて、まだまだ、新型コロナ感染症の感染は収まる気配が見えず、なかなか先が見通せない現状ではありますが、こういうときだからこそ本質を見極め、主体性を育み、自ら気づき考え行動することが大切であると考えます。現在、生徒たちは、有意義な学校生活にするために、学業や部活動、農業クラブ活動など、一生懸命取り組み、大きな実績をあげております。部活動においては、今年も多くの運動部で、地区大会を勝ち上がり県大会へ出場し成果を挙げました。また、農業クラブ活動においては、本校動物科学部が、プロジェクト発表会で、約10数年ぶりに県大会及び東海大会で最優秀賞を受賞し、10月の全国大会で優秀賞を受賞することができ、大変すばらしい成績を収めることができました。このように、それぞれの生徒は勇気と意欲をもち続け、挑戦しています。本校の伝統と使命を大切に継承しつつ、時代の変化や社会の要請に、学校として挑戦を続けているところです。

これからの時代は、グローバル化の進展や技術革新が急速に進み、予測が困難な時代と言われています。現在私たちは、誰も経験したことのない、これまでのセオリーが当てはまらない未知の事態に巻き込まれています。私たちは、いつまで続くのかわからないまま、答えが出ない、出せない状態の中に居ること、居続けられる力をもつこと、また、問えば問うほど問題が増えてくる、その複雑性の増大に耐えうる「知的体力」をもつことを求められています。新しい社会に適応するため、私たちが変化することを突きつけられたといえるでしょう。このような時代においては、よりよい社会や人生を自ら切り拓いていく力が求められています。このことを踏まえ、本校は校章「働蜂」に込められた校訓である「聡明なる勤労」（単なる労働ではなく、身に付けた知識・技術に裏付けされた理解力と判断力を活用し、地域社会へ貢献できる人間性あふれる働き）を根幹に据えた学校づくりを推進し、教職員が一致団結し、有為な人材育成に精進していきたいと考えております。

最後になりますが、同窓会の皆様には、今後も母校への変わらぬお力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。渥美農業高等学校同窓会のますますの御発展と、同窓生の皆様の御健勝、御多幸をお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。

活躍する部活動

動物科学部

尾崎　智子

動物科学部では、畜産を通じた地域課題の解決や人間的成長を目指して日々様々な活動をしています。今年度は、規格外トマト活用に関する活動が、農業クラブ全国大会において優秀賞を獲得しました。規格外トマトとは、市場の規格と合わずに廃棄されてしまうトマトのことで、田原市では丸玉トマト生産が盛んであることに伴い、規格外として多くのトマトが廃棄されることが課題となっています。私たちはこの課題を、大産地であるが故の課題と捉え、この地域課題を地域の魅力に変えるため、本校で飼育する黒豚への給与を令和3年度から継続しています。JA愛知みなみトマト部会様にご協力いただき、令和3年度は飼料化、令和4年度には新商品「黒豚とトマトのキーマカレー」を開発・販売しました。今年度は肉質評価のため給与試験を続けています。これまでの結果では、規格外トマトの給与で豚肉中のイノシン酸含量が増加する可能性があることが分かりました。今後も給与や分析を続け、規格外トマトに新たな価値を見出していきます。

また、和牛甲子園への出場に向けても取組んでいます。令和3年度には総合優勝、令和4年度には特別賞を2つ受賞しました。5度目の挑戦となる今年度は、アニマルウェルフェアに焦点を当て、持続可能な和牛生産実現に向けて、アニマルウェルフェア認証取得に挑戦しています。

さらに、よりよい農場運営や、畜産を取り巻く環境にも注目し、令和2年度から豚と肉用牛のJGAP認証にも取り組んでおり、現在は1月下旬の維持審査に向けて準備を進めています。

多くの活動の中で、参加する生徒は農業の基本的な知識や技術を身につけるだけでなく、伝える力・聞く力・理解する力といったコミュニケーション能力、さらに集団でひとつのことに取組む協調性など、多くのことを身につけ、成長し続けています。これからも、日々の学びを大切に、動物たちと一緒に挑戦を続けていきます。

カレー販売実習

東海ブロック大会

全国大会

卓球部

荒木　康平

渥美農業高校卓球部は、現在3年生男子3名、女子2名、2年生男子2名、女子2名、1年生男子2名、女子2名の13名で活動をしている。過去には男子だけで20名近く在籍していたこともあり、現状では渥美農業高校卓球部の存続すら危ぶまれている。卓球部は、団体で東海大会に数回出場経験があり、愛知県内の卓球強豪校として名を馳せていたことにも陰りが見え、現在の状況を大変遺憾に思う。

卓球部の練習は、フットワークや打球の質を向上させるための多球練習、1ポイント1ポイントを大事にし、自分の得意な展開を作る1球練習を主に行っている。生徒自身が行う練習を考え、顧問は適宜アドバイスをするという形をとっている。練習の雰囲気は、静かにひたすら球を打つということはなく、相手の良いところは生徒同士で褒め合い、悪いところは○○した方がいいよと生徒間でアドバイスをしていることも見え、お互いを高め合っていると感じる。また、生徒自身わからないことがあった時に、気軽に聞けるような環境づくりを心掛けている。

今年度の成績は、高校総体東三河予選で男子団体が3位、女子団体が3位、男子個人で3年生2名がそれぞれ3位と9位、男子ダブルスは1ペア準優勝で県大会に出場している。新人体育大会東三河予選では女子団体が3位で県大会に出場した。その他の大会でも個人戦で活躍を見せている。

卓球は大会の数が多く、一か月に多い時で四回ある。土日両方ともに大会なこともあり、生徒の疲労を考えながら活動時間を調整することが非常に大切になる。基本的には、土日のどちらかは休養日とし、平日は男子が19時、女子が18時半までとしている。大会前日は調整のために練習時間を短くすることや、大会が続いた時は平日に休養日を設けることもある。また、やる気になった時が最も成長するチャンスだと考え、生徒がまだ練習をしたいと言えば延長して行うこともある。

今年度から渥美農業高校卓球部顧問として、また渥美農業高校卓球部OBとして伝統と誇りを引き継いでいこうと就任してからずっと考えており、時には生徒と一緒に練習に参加し、技術指導だけではなく「心」を成長させるそんな指導をしていきたい。

■陸上競技部

第25回　東三河高等学校１年生陸上競技大会・国体選考競技会
令和５年度東三河ジュニア陸上競技記録会　令和５年７月17日
男子
やり投げ　１Ａ　柏原京平　47ｍ08（１位・大会新記録）

令和５年度愛知県高等学校新人体育大会陸上競技大会東三河予選会
兼東三河高等学校対校新人陸上競技大会　令和５年９月２日～３日
男子
やり投げ　１Ａ　柏原京平　47ｍ02（２位）
女子
やり投げ　１Ｄ　村田魅沙稀　23ｍ96（６位）
円盤投　１Ｄ　村田魅沙稀　19ｍ83（５位）

愛知県高校駅伝　令和５年１１月５日
男子　１区３Ａ　前田優樹、２区３Ａ　神谷涼、３区３Ｂ　夏目直英、
４区３Ｃ　船水優利、５区１Ｃ　成瀬槙、６区２Ａ　楠田理央、
７区３Ｃ　鈴木治人　２時間34分26（29位／51校）

■男子バレーボール部

令和５年度　愛知県高等学校総合体育大会バレーボール競技
東三河支部予選会
準優勝
令和５年４月29日（土）　会場：豊橋工科高校
渥美農業　２－０　豊橋工科
渥美農業　２－０　国府
令和５年４月３０日（日）　会場：豊橋中央
渥美農業　２－０　桜丘
渥美農業　０－２　豊橋中央
県大会
第77回愛知県高等学校総合体育大会バレーボール競技の部
（男子）
令和５年５月14日（日）　会場：東スポーツセンター
渥美農業　２－０　小牧工科
渥美農業　０－２　愛工大名電

令和５年度　愛知県高等学校バレーボール選手権大会
東三河支部予選会
優勝
令和５年７月15日（土）　会場：小坂井高校
渥美農業　２－０　新城有教館
令和５年７月16日（日）　会場：豊丘高校
渥美農業　２－０　豊丘
渥美農業　２－１　豊橋工業
県大会
令和５年度　愛知県高等学校バレーボール選手権大会（男子）
令和５年８月７日（月）　会場：守山スポーツセンター
渥美農業　１－２　岡崎北
第76回　全日本バレーボール高等学校選手権大会東三河支部予選会
準優勝
令和５年９月23日（土）　会場：豊橋工科高校
渥美農業　２－０　新城有教館
令和５年９月24日（日）　会場：豊丘高校
渥美農業　２－０　御津あおば
渥美農業　０－２　豊川
県大会
第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会愛知県予選会
令和５年10月28日（土）　会場：一宮総合体育館
渥美農業　０－２　中部大第一

■女子バレーボール部

令和５年度愛知県高等学校総合体育大会バレーボール競技
東三河支部予選会　４月29日（土）会場：時習館高校
渥美農業　０－２　時習館
令和５年度　愛知県高等学校バレーボール選手権大会東三河支部予選会
７月15日（土）会場：豊橋商業高校
渥美農業　０－２　小坂井

■バスケットボール部

令和５年度東三河支部高等学校バスケットボール競技夏季選手権大会
渥美農業　18－92　豊川
渥美農業　38－55　国府

第76回全国高等学校バスケットボール選手権大会愛知県大会
第１回戦
渥美農業　49－77　豊橋東

■ソフトテニス部

令和５年度愛知県高等学校新人体育大会ソフトテニス競技東三河予選会
男子　個人戦　９位　１Ｂ　柏尾凌亜・
１Ａ　香山脩冴（県大会出場）
団体戦　８位（決勝リーグ）

令和５年度　東三河ソフトテニス学年別大会
男子　１年生の部　３位　１Ｂ　柏尾凌亜・１Ａ　香山脩冴

■野球部

第105回全国高等学校野球選手権記念愛知大会
７月　８日　渥美農業　５－１　愛知商業
７月　15日　渥美農業　７－０　名古屋南
７月　17日　渥美農業　１－５　愛知

令和５年度秋季東三河高校野球１次リーグ
８月　11日　渥美農業　１－１　蒲郡
８月　14日　渥美農業　６－１　小坂井
８月　16日　渥美農業　２－７　豊川工科
８月　17日　渥美農業　６－５　豊橋南
令和５年度秋季東三河高校野球２次トーナメント
８月20日　渥美農業　２－４　時習館
第149回中日旗争奪全三河高校野球大会
10月　14日　渥美農業　６－３　豊田大谷
10月　21日　渥美農業　４－５　三好

■剣道部

豊橋市武道館開館記念大会
４月22日（土）　団体第３位
渥美農業　５－０　豊丘
渥美農業　５－０　豊橋工科
渥美農業　１－４　豊川

第77回愛知県高等学校総合体育大大会剣道競技東三河支部予選会
（個人）
５月５日（金・祝）
２Ｂ　鈴木悠佑雅：３回戦進出
１Ｂ　鈴木尊：ベスト16

第77回愛知県高等学校総合体育大大会剣道競技東三河支部予選会
（団体）
５月６日（土）
渥美農業　４－０　蒲郡
渥美農業　２－３　豊橋工科

田原市剣道選手権大会
６月18日（日）
Ｂチーム男子団体第２位
２Ａ　押田凪、２Ａ　玉越煌大

全三河高等学校剣道大会
8月19日（土）
Aチーム　渥美農業　4－1　刈谷工科
渥美農業　0－4　杜若A
Bチーム　渥美農業　0－2　豊田西B

令和5年度東三河高等学校新人体育大会（団体）
10月28日（土）
渥美農業　5－0　豊橋中央
渥美農業　2－2　国府

令和5年度東三河高等学校新人体育大会（個人）
10月29日（日）
ベスト16　2A押田凪　2B鈴木悠佑雅

■卓球部

令和5年度愛知県高等学校総合体育大会卓球競技東三河支部予選会
男子　学校対抗　3位　県大会出場
シングルス　3位　3C牧野友飛　県大会出場
9位　3A住吉純平　県大会出場
ベスト24　3B小林丈羽
ベスト24　2C早川樂
ダブルス　準優勝　3A住吉純平・3C牧野友飛
県大会出場
ベスト12　3B小林丈羽・2C近藤寛介
女子　学校対抗　3位　県大会出場
シングルス　ベスト24　3C鈴木玲凪

令和5年度愛知県高等学校総合体育大会卓球競技
男子　学校対抗　ベスト16
ダブルス　ベスト32　3A住吉純平・3C牧野友飛
女子　学校対抗　ベスト32

令和5年度国民体育大会卓球競技東三河予選会
男子　3位　3B小林丈羽　県大会出場
9位　2C早川樂　県大会出場
3A住吉純平、3C牧野友飛は推薦により県大会出場
女子　3位　1D小林優依　県大会出場
9位　2D中川葉月　県大会出場

令和5年度国民体育大会卓球競技　愛知県一次予選会
男子　ベスト64　3C牧野友飛

令和5年度東三河地区高等学校卓球選手権大会
男子　学校対抗1部　3位
学校対抗2部　優勝
シングルス　3位　3C牧野友飛
女子　シングルス　準優勝　1D小林優依

田原市スポーツフェスティバル2023
男子　シングルス　優勝　3C牧野友飛
準優勝　3A住吉純平
女子　シングルス　優勝　1D小林優依
準優勝　1C河合結夢
3位　2D中川葉月

第58回一万人卓球大会
男子　準優勝　2C近藤寛介
女子　3位　1D小林優依

令和5年度愛知県高等学校新人体育大会卓球競技東三河予選
女子学校対抗　3位　県大会出場

■バドミントン部

第32回東三河バドミントン選手権大会（8月7日～8月9日）
男子　単　優勝　2C大谷健人
複　ベスト8　2C大谷健人・2B水野滉斗

令和5年度愛知県高等学校新人体育大会バドミントン競技
三河支部予選　（9月9日～9月23日）
男子　団体　第4位　県大会出場
2C大谷健人　2A水野瑛太　2B水野滉人
2C鈴木智温　2B渡會恵大　1C柴田豪喜
1C福世翼
複　ベスト8　2C大谷健人・2B水野滉斗
県大会出場
単　ベスト16　2C大谷健人　県大会出場

■吹奏楽部

令和5年7月23日
愛知県吹奏楽コンクール東三河地区大会（高等学校の部）
会場：豊川市文化会館
プライマリー部門　優秀賞

令和5年8月9日
愛知県吹奏楽コンクール（高等学校の部）
会場：名古屋国際会議場
プライマリー部門　奨励賞

■パソコン部

日本情報処理検定協会主催　第37回全国パソコン技能競技大会
期　日　8月10日
成　績　情報処理競技　団体2位
3A佐野集俊
3A三津谷春都
3B伊藤旬哉
3C大林朔士
3C竹本來晴
2C村田優月
日本語スピード競技　佳良賞　3A広田菜砂

■農業クラブ

6月13日　愛知県学校農業クラブ連盟　プロジェクト発表会
分野Ⅰ類　最優秀　3A広田菜砂　他2名
6月16日　愛知県学校農業クラブ連盟　プロジェクト発表会
分野Ⅲ類　優秀　3A奥田里紗　他3名
6月20日　愛知県学校農業クラブ連盟　農業情報処理競技会
優秀　2C村田優月
7月5日　愛知県学校農業クラブ連盟　農業鑑定競技会
分野　農業　最優秀　2A二村美衣菜
7月7日　愛知県学校農業クラブ連盟　家畜審査競技会（乳牛の部）
オブザーバーの部1位　2A鳥居丈二
7月21日　愛知県学校農業クラブ連盟　意見発表会
分野Ⅲ類　最優秀　2A岩本漣
8月1日　東海ブロック学校農業クラブ連盟
プロジェクト発表会
分野Ⅰ類　最優秀　3A広田菜砂　他4名
意見発表会　分野Ⅲ類　優秀　2A岩本漣
10月26日　第74回日本学校農業クラブ全国大会
令和5年度熊本大会
プロジェクト発表会
分野Ⅰ類　優秀　3A広田菜砂　他4名
農業鑑定競技会
分野農業　優秀　2A二村美衣菜
分野食品　優秀　3C廣中葵